



名瀬小だより

6月号

学校教育目標
自分・友だち・まちがすき
自ら学び 未来へとかがやく名瀬っ子

令和2年5月28日
横浜市立名瀬小学校
校長 中嶋 孝宏

力を合わせて

校長 中嶋 孝宏

25日に緊急事態宣言が解除になり、6月より学校が再開されることになりました。6月の前半2週間は、感染予防のため、学級を2グループに分け、1コマを30分として午前もしくは午後3コマの授業を行います。その後、後半の2週間は全児童同時登校で午前授業を行い、7月より通常授業と段階的な学校再開を予定しております。何かお困りのことやご相談がありましたら、ご連絡ください。すべてが初めての経験となり、ご家庭でもご苦労が多いと思います。小さなことでもご遠慮なくご相談ください。

長かった学校休業でしたが、保護者の皆様、地域の皆様にはご負担をおかけいたしました。

その状況の中で、教材を取りに来ていただいた時も「先生も大変ですね。」「ありがとうございます。」など、保護者の皆様には温かいお言葉をかけていただき、私たちも勇気をいただきました。PTA本部を中心とした活動もままならない中でも、協力しながらやれることをやられている姿には感謝の気持ちでいっぱいです。PTA本部より「学校で使ってください。」とマスク及び消毒液をいただきました。地域の協力者の方には、「先生使ってください。」と殺菌ハンドソープをもってきていただきました。本当に心が温まりました。大切にに使わせていただきます。地域の皆様も「先生がんばれ!」とお応援いただき、学援隊の皆様にも「学校が始まったらまた行きますよ。」とお言葉をいただき、どんなに私たちは皆様に支えられているのだろうと実感いたしました。本当にありがとうございます。

子どもたちは本当によく頑張りました。学校でも、感染予防に配慮しての家庭訪問や家庭学習のカリキュラムの提示及び、わくわくカードを使った連絡など、今できることを力を合わせて行っております。子どもたちの気持ちになると、1年生の入学式や在校生の始業式しか行っておらず、心配な日々が続いていると思います。ご家庭での支えがあってここまで来ることができました。

今、名瀬小学校の子どもたちのために、みんなが力を合わせてくれています。学校は、この気持ちを胸に子どもたちとともに新たなスタートをしてまいります。引き続きご支援、ご協力をお願いします。

